



2017-2018年度 国際ロータリー第 2580 地区
東京東大和ロータリークラブ例会報告

ロータリー：
変化をもたらす

第2580地区テーマ 『感動と調和』
ガバナー 吉田 雅俊

第 2217回
2017.8.22

RI 会長
イアン H. S. ライズリー

クラブテーマ 『楽しく魅力あるロータリー
ライフを過ごすためには』

第 46 期 クラブ会長 虎井 廣志



点鐘：若林 和男 会長代理

ソングリーダー：高木 裕 会員



- ・ロータリーソング
「奉仕の理想」斉唱

お客様紹介：若林 和男 会長代理



東京秋川RC 斎藤 章浩様



東京新都心RC 鈴木 龍雄様

会務報告：若林 和男 会長代理



・会務報告は、特に有りません。虎井会長が所用でお休み。浦川直前会長は不幸があつてお休みのため私が会長代理を務めます。今年度ガバナー補佐を輩出しているクラブですので、頑張らなければ行けないし、会員増強にも力を入れて行かなければならないと思っています。若い人達の入会をと言うお話もありますが、私個人としては、こんな話があります。或る芸術大学での事ですが、二つのグループに分けて、一方には『素晴らしい芸術を作りなさい。』もう一方には、『何でも良いから提出しなさい。』という課題を出した時に結果として、後者の方が色々な良い物が出て来たと言う事です。今日の卓話、楽しみにしていますので宜しくお願いします。

- ・ 例会場：〒207-0022 東大和市桜が丘 1-1330-19
BIGBOX東大和内
TEL 042-566-6411
- ・ 事務局：〒207-0014 東大和市南街 5-89-11 2F
TEL 042-564-8338 FAX 050-3488-1715
- ・ E-mail：info@higashiyamato-rc.org

- ・ 例会日：毎週火曜日 12:30~13:30
- ・ 創立：1972年2月23日
- ・ 認証：1972年3月3日
- ・ 日本RC認証 No.1100

Rotary 
東京東大和ロータリークラブ

幹事報告 : 藤宮 志津子 幹事



- ①九州北部豪雨災害支援金として、3万円の寄付をしました。
- ②第6回日台ロータリー親善会議のご案内が届いています。
3月1日(木)親善会議・懇親会を開催します。
多くの皆様方のご参加をお待ちしています。回覧
- ③『ハイライトよねやま』が届いています。
- ④東京秋川RCより『アユの塩焼きを食べる会』のご案内が届いています。
全員に配布。参加される方は事務局まで。

委員長報告

地区職業奉仕委員会 : 尾崎 誠 委員



・8月9日地区研修会で職業奉仕委員会に出席しました。本荘 修会員が師と仰ぐ
深川先生の卓話でした。職業奉仕とは、倫理運動なんだというお話を聞いてきま
した。詳細につきましては、機会がありましたらお話しさせて戴きたいと思います。

出席率発表 : 岩田 英樹 出席委員長



| 会員数 | 出席者 | 出席率 | 修正 |
|------------|------------|--------|----|
| 23名(免除者2名) | 14名(免除者0名) | 66.66% | |

ニコニコ発表 : 安岡 伸雄 親睦副委員長



東京秋川RC 斎藤章浩様 お世話になります。

東京新都心RC 鈴木龍雄様 本日のメイキャップ宜しくお願い致します。

藤宮志津子幹事 不順な天候が続いておりますが元気で夏を乗り切りましょう。

お客さまありがとうございます。

森田憲治会員 秋川RC 斎藤様本日の卓話宜しく申し上げます。新都心RC 鈴木様
ようこそいらっしゃいました。

波多野永二会員 本日の卓話斎藤様よろしく申し上げます。新都心RC 鈴木様ようこそおいで下さいました。
ごゆっくりすごして下さい。

金野真一会員 秋川RC 斎藤様本日の卓話宜しく申し上げます。新都心RC 鈴木様ようこそいらっしゃいま
した。ごゆっくりどうぞ。

若林和男会員 長雨空の記録をつくりそうな8月会長代行の役に感謝します。本日卓話東京秋川RC 斎藤様よ
ろしく申し上げます。東京新都心RC 鈴木様元気な姿を拝見させて頂きありがとうございます。

安部琢正会員 東京秋川RC 斎藤章浩様ようこそ東大和の地へお越し下さいました。本日の卓話楽しみにして
います。拡大の秘訣を教えてください。

東京新都心RC 鈴木龍雄様ごゆっくりおくつろぎ下さい。

記念月

本人 BD 指田雄之会員 47才となりました。また宜しくお願いします。

結婚記念月 指田雄之会員 15年になりました。

| | |
|------------------|-------------|
| ニコニコ 本日計 25,000円 | 累計 169,000円 |
|------------------|-------------|

卓話者紹介：高木 裕 プログラム委員長



・今月は、会員増強・拡大月間ということで、この大きな課題について勉強したいと思っています。本日は、東京秋川RCで本年度副幹事をされています齋藤章浩さんにお越し戴きました。『若手の会』を通じて活発に会員増強されていると言う事ですが、お話しを伺って東大和RCでの取組に是非活かして行きたいという趣旨です。参考にさせて戴ければと思っています。

卓話：東京秋川RC 齋藤 章浩 様

『会員増強』する為に取組んだ事 ～私が感じてきた事から～



ロータリー 自己紹介

変化をもた

- ・昭和50年生 41歳 東京都あきる野市在住
- ・ロータリー入会 平成22年3月 8年目 皆出席7年
- ・ケイ・ワイ・ライト株式会社 代表取締役社長
- ・職種 電子機器、精密機器、理化学機器 製造業・一般人材派遣業
- ・趣味 ゴルフ・野球・スノーボードなど

『会員増強』しようと思ったきっかけ

① 会員数の減少

私が入会した当時、60名の在籍数だったのが、2016年7月には37名までに急激に減少した。

原因：会員増強ができていない。高齢者の退会。若手会員の退会。

→このまま同じ事をしていて良いのか？

→財政悪化!!新入会員を増やさなければ!

② クラブ内会員の高齢化

クラブ会員の半数が70歳以上、続いて50～60歳代、40歳代は数名、と言う年齢構成になっていた。

会話、活動に於いてもジェネレーションギャップがあり、若手会員が発言、意見を余り出来ない？

しない？状況。

→例会を見て入会しようと思うのか!

→活発な奉仕活動ができるのか?

③ 若手会員の出席率の悪さ

若手会員の出席率が悪い原因

- ・事業の一戦に立っており例会に出席できない。
- ・話す相手が少ない、つまらない。
- ・ロータリーの事をよく知らず、言われてとりあえず入会した。など

若手会員とのコミュニケーションがなかなか図れず、魅力がなくなり退会したり、事業優先の為退会、など定着率も悪かった。

→若手会員が出席しやすくするためには?

→若手会員とコミュニケーションを図るには?

→新入会員にロータリーの説明をしっかりとしたのか?

④ 地区活動で感じた事

初めて地区委員にさせて頂いたとき初めてロータリーの素晴らしさや人脈や本当のロータリー活動を実感しました。我が地区には素晴らしい先輩ロータリアンが大勢いらして、ロータリーのことを色々教えて下さいました。

地区委員会、地区大会、IM、国際大会に参加して他クラブの方々と知り合いも増えていき自クラブだけには出会えなかった人達に出会えました。

→この経験を自クラブの若手会員に伝えたいなあ

→地区や全国、世界のロータリアンとの交流を仲間にも

⑤ クラブでの奉仕活動への疑問

その1

東京秋川クラブは、比較的多くの継続事業をしています。(少年野球大会、女子中学生バレーボール大会、小学生低学年サッカー大会、ヤマメの里親教室、姉妹クラブ韓国蜜陽ロータリークラブとの交換ホームステイ、など)しかし、運営費の援助をし開会式に参加するだけ出欠を認められればすぐに帰り閉会式には会長・幹事・委員長のみだとか、炊き出し等の会員でやっていたことを廃止していくだとか、事業や奉仕活動のあり方に疑問がでてきた。

→子供たち親御さんたちはロータリークラブ主催だとわかっているのか？

→お金の援助だけでいいのか？

→動くことが難しくなっている年代が多いから？

→奉仕事業ってなに？やるなら活気ある事業をしたい!!

その2

東京秋川クラブは会員数が急激に減少し、クラブの財政が苦しくなってきました。事業の見直しや打ち切り、経費節減、などなどの下向きな、改革案しか進めてきておりませんでした。これでは魅力あるクラブになれず新入会員なんてなおさら入会してこないのではと思い始める。

→経費削減ではなく会員を増やして財源を確保しなければ解決しないのでは？

→みなさん本気で会員増強していますか？

⑥ 楽しいと思えるのか？

現状のロータリーライフが若者にとって楽しいのか？本当に楽しんでいるか？無理やりなのか？お付き合いなのか？

→ロータリーは会員相互の親睦と友情を築いてこそ継続できるものではないか？

→若者にとって魅力ある楽しいクラブになっているのか？

色々なことを私なりに感じて、自分に出来ることから少しづつしていこう！変えていこう！と思い自分なりに考え、若手の会員と相談したりしながら次のような取り組みを始める。

取り組んだこと①

ロータリアンとしてやるべきことはしよう！

まず自分がロータリーの事を知ってみよう！

- ① 出席をする。→皆出席7年
- ② 任された役目は責任もって引き受ける。
- ③ いろいろな会員と積極的に話す。
- ④ ロータリーのことを知ろう。



取り組んだこと②

若手会員や新入会員との親睦を図りたい。

- ① 60歳以下の会員に声をかけ懇親会を開催。
- ② SNS・LINEでグループを作る。

若手会員のコミュニティの場をつくり、情報、ロータリー活動の共有を図った。

- ③ 例会に出てきた若手会員と積極的に話す。

取り組んだこと③

若手会員の親睦会を月一度の定例親睦会にして、もっと盛り上げて楽しい『会』にしよう！

- ① 例会とは違う若い人が気を遣わない楽しめる会にしよう！
(服装は、自由でお酒を飲みながら楽しく)
- ② 地域の若手経営者、JCメンバーなど仲間を呼ぼう！
- ③ 近隣クラブの若手会員にも声をかけてみよう！

若手の会設立

若手の会での取り組み①

若手会員が出来るだけ参加し、ゲストを積極的に誘う。

- ・ただし、会の中ではあまり入会の勧誘はしない。
- ・まずは交流と出会いを楽しんでもらう。
- ・ロータリーの説明、アピールの場を毎回20分前後とる。

若手の会での取り組み②

他クラブからの若手会員の参加をお願いする。

- *最近では年齢問わず賛同していただける先輩会員の積極的参加がふえてきてます。
- ・自クラブの中では交流できないロータリアンとの交流。
- ・他クラブのやり方、雰囲気を知る。
- ・若手会員やゲストさんに色々な方に出会える場を提供する。

若手の会での取り組み③

秋川クラブ以外のクラブへ主催をお願いし開催してもらう。

近隣クラブから多くのロータリアンが参加していただいていますので、他クラブのやり方で『若手の会』を開催してもらいました。青梅クラブ2回、福生クラブ2回、武蔵村山クラブ1回

- ・自クラブ開催なら参加していただけるロータリアンとの出会いや若手の会のアピールになりました。

若手の会での取り組み④

半年継続開催後、繰り返し参加していただいたゲストへロータリークラブへの入会の勧誘をはじめます。

- ・入会してもらえる場合は、入会申込書への記入を若手の会開催中にイベントとして行った。
- ・一人入会すると次のゲストも入会しやすくなったのが連鎖で入会していった。

今後の若手の会の方向性①

現在、青梅RC・福生RC・武蔵村山RC・秋川RCが主な参加ロータリアンですが、今後近隣クラブへのお声掛けをし、多摩分区分はもちろん武蔵野分区分や2750地区の近隣クラブさん（昭島、八王子）なども参加してもらえるように声をかけていきたいと思っています。

→より多くの方との出会いの場を求めたい。

→『若手の会』の名称を変更し、賛同いただける先輩ロータリアンの皆様も参加しやすくしたい。

今後の若手の会の方向性②

ロータリーの素晴らしさは入会してロータリーを知って経験しなければなかなか理解できません。

まずは、若手の会を体験入会のような存在として、入会して欲しい若者を誘い、色々な人との出会いの場、交流の場、楽しい場としてご活用していただき、所属クラブ関係なくロータリアンが協力して入会していただけるきっかけになり得る場として今後も継続できればと思います。マンネリ化しないように色々なやり方や色を各主催クラブを変えることで解消し、飽きない会にしていきたいと思っています。また、色々な地域、地区ロータリアンのご参加も大歓迎ですので、ご紹介よろしくお願い申し上げます。

新入会員の退会防止への取組

急激に新入会員が増えたので新入会員が楽しめるように、また退会するのを防ぐために次の取組をした。

- ① パートナー制度の導入
- ② 新入会員の歓迎会
- ③ SNS・LINEの交換による情報共有
- ④ 話しかけ、例会や事業への参加呼びかけ
- ⑤ プライベートのゴルフや飲み会のお誘い など

今後の新入会員への取組

ロータリアンとして相応しいかではなく、頑張っている活気のある若者を素晴らしいロータリアンへ育ててもらえるよう先輩ロータリアンにご指導をお願いしたいと思っています。

- ① 秋川クラブでは今年度、炉辺会合にて新入会員の研修会を複数回開催していきます。
- ② 入会するにあたり、しっかりとしたロータリーの説明をしていきます。

取組の成果

会員数も10名以上純増し、例会にも少しづつ賑わいも出てきました。年齢分布も幅広い年齢層で在籍し、色々な新入会員が入会しても同年代の仲間もできるクラブへととなりつつあります。今回の新入会員はロータリーの事を多少感じて入会した会員がほとんどなので出来る限り例会や事業へ参加しようとしています。それに触発されたのか例会にあまり出てきていなかった若手会員も参加するようになってきています。

今後の課題

ロータリーの役職は、一年任期が殆どです。会員増強も担当する委員長の熱の入れ具合で変わってきます。どうかこの取組を飽きないように継続し、これからもコンスタントに会員増強していかなければ、また会員数が減少してしまいます。出来るだけ熱を冷まさず会員一人一人が会員増強に意欲を持ち、取り組んで行くことが大事ではないでしょうか。自クラブだけでなく周りのすべてのロータリアンを利用しながらでも会員を増やしていけるよう多摩分区をはじめロータリアンの協力や交流が大事になるのではないかと思います。

点鐘 若林 和男 会長代理